

### 第3回広島県在籍型出向等支援協議会 議事概要

日時：令和5年1月24日（火）

13：30～15：00

会場：ホテルメルパルク広島

#### ●開会挨拶【広島労働局長】

新型コロナウイルス感染症の影響等が続く中、県内企業の皆様には、雇用調整助成金や産業雇用安定助成金を活用した在籍型出向等、雇用の維持のご尽力に感謝を申し上げます。

在籍型出向については、令和4年11月に開催された全国協議会において、アフターコロナ期も雇用維持の手段だけでなく、人材育成やスキルアップの効果が期待でき「人への投資」の手段としても有効であるとされ、さらに昨年末、産業雇用安定助成金（スキルアップ支援コース）が創設され、事業主支援の強化も図られたところ。

こうした動きを踏まえ、関係機関の連携強化を図り、在籍型出向の一層の活用促進により、企業の役に立つ仕組みとなるよう、忌憚のないご議論をお願いします。

#### ●議題

##### 【広島労働局職業安定部職業安定課】

「在籍型出向等支援について」（資料1）により、在籍型出向等支援協議会について、全国協議会、地域協議会の設置及び当協議会のこれまでの取組状況を説明。

##### （1）地域における雇用情勢について

##### 【広島労働局地方労働市場情報官】

「管内の雇用情勢(令和4年11月分)」（資料2）により、管内雇用情勢の概要を説明。

##### （2）アフターコロナ期における在籍型出向の支援等について

##### 【広島労働局職業対策課長】

「産業雇用安定助成金について」（資料3）により、当該助成金の申請状況や新設されたスキルアップ支援コースについて説明。

##### 【(公財) 産業雇用安定センター広島事務所副所長】

「産業雇用安定センターの出向・移籍支援について」（資料4）により、同センターの事業概要、管内の在籍型出向の実施状況と具体的事例、高齢者を対象としたキャリア人材バンク制度等について説明。

##### 【広島労働局職業安定部職業安定課】

「在籍型出向等支援について」（資料1）により、全国協議会での議論を踏まえ、アフタ

ーコロナ期の在籍型出向は、自社にない実践経験による新たなスキルアップの手段として有効であることなどを共有し、地域協議会の連携を活用した周知や情報収集のほか、産業雇用安定センターとの更なる連携による在籍型出向の活用促進について説明。

## ●意見交換

各構成員からは、在籍型出向の拡充への評価や、周知への協力等に係る意見のほか、コロナ禍を経た最近の関連業界の情勢や、「人への投資」の取組、人材の確保・育成に係る課題や今後の対応など、意見交換や情報共有を実施。

(質疑応答等)

### ・今後の在籍型出向の活用について

「休業から就業へ」、「雇用維持からスキルアップ」といったスキームの拡充により、雇用維持支援に加え、スキルアップ支援に向けた新しい展開が見込まれる。

### ・在籍型出向の制度活用の課題について

企業規模や待遇面の違い、社内のコンセンサスの形成や手続の煩雑さ、雇用維持支援の手段として、休業による雇用調整助成金の活用を優先など。

### ・在籍型出向の実施における出向先で働く人への配慮について

送出側と受入側の双方のサポート体制整備が重要。対象労働者の同意が前提である中、送出元も丁寧な対応が必要。産業雇用安定センターでは、マッチング支援に際し、事前の仕事内容の見学や、対象労働者が働きやすいよう複数人の出向等も提案。

## ●閉会挨拶【広島労働局職業安定部長】

本日は、大変貴重なご意見など、活発にご発言をいただき感謝申し上げます。

在籍型出向は、コロナ禍における雇用維持から、アフターコロナ期においては自社にないスキルの習得する効果から「人への投資」に有用と考えられており、ご紹介のとおり、産業雇用安定助成金にスキルアップ支援コースも創設されたところ。

企業が、必要なスキルを持った人材を確保するための方法について、自社内育成や外部労働市場からの採用に加え、在籍型出向の活用も人材育成の有効な手段である。

本日いただいたご意見も参考に、在籍型出向の活用促進を図るため、引き続き関係機関の皆様のご協力をお願いします。